

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2018年12月19日

事業所名：スクラムトライ児童発達支援放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	室内でドローンも飛ばせる広々とした機能訓練室やプレイスペースを確保しています。	きれいで明るく子供たちが喜ぶ工夫がされています。	これからも児童がのびのびとできるようにスペースの確保をしていきます。
	2 職員の適切な配置	現状、指定基準を満たしており、適切に配置しています。	・今のところ人数も適切と思う。 ・職員の数分からない。	保護者様にスタッフの人数がわかるように今後、説明していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	子供達が安全に過ごせるように室内は内面バリアフリーにしております。	・特に危険なところはない。 ・わからない。 ・少し気になる。	玄関の段差部分があるので手すりを設置する等、今後改善できるようにしていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	適切に毎日清掃・消毒を行っています。	部屋も広々としており、特に気にしたことはない。	今後も毎日の清掃活動を継続して実施します。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日の朝礼・終礼等で職員間で話し合っています。	/	今後は研修等行い、目標設定と振り返りを行っていくように努めます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現状、第三者による外部評価は行っていません。	/	今後第三者の外部評価の導入を検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月、施設内研修を実施しています。外部研修機会も随時案内しているが、受講回数減少 ない状態です。	/	今後は外部研修に定期的に受講できるように進めてまいります。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	会議の中で児童・保護者様の意向を共有・確認し、計画を作成しています。	・されていると思う。 ・わからない。	児童への必要な支援内容と訓練がどのように関連し、結果がどのように表れているか等も配慮していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	学習支援は一人一人の個性を尊重し、1対1で療育を実施しており、音楽・児童療法等では集団活動を通して協調性を身につけられるよう計画を考え、実施しています。		今後も継続して行っていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	計画等での必要な項目を設定し、連絡帳にその日に記載を行っています。		より支援計画に沿った目標の達成が出来るように適切な支援の実施を行っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個々の計画に即した支援の実施をしています。	・されている。 ・わからない。	引き続き行っています。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員全員で提案・協議し、決めています。		引き続き行っています。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、休日に応じて活動プログラムを立案していますが、課題設定は休日に特化しておりません。	・工夫されていると思う。 ・わからない。	引き続き行っています。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	基本のプログラムは変わらないですが、季節に応じてイベント等行っています。		季節・利用時間等に応じて活動内容を計画し、今後も内容が偏らないよう配慮していきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼、昼礼、終礼で随時確認をしています。		出勤時間が児童の登所時間によって異なる事がありますが、朝礼時はなるべく実施してその日の流れや個別支援が必要な利用児の把握するようにしています。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	申し送りノートにて振り返りや気づきの情報を共有しています。		終礼時、利用の様子を振り返り、気づいた課題等があれば意見を出し、支援の見直しを行っていきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々個別日誌等で児童の目標を記載し、次回の支援に生かすようにしている。		今後も記録の徹底を意識し、継続していきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	子どもの実態に合っているか計画を見直すように心がけています。		今後も継続していきます。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	児童発達支援管理責任者が主に参加しています。		会議には児発管が出席し、相談支援員との情報共有については日々意識しています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当児童なし。		現在は該当児童がいませんが、該当児童の利用があった場合、対応していきたいと思います。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当児童なし。		現在は該当児童がいませんが、該当児童の利用があった場合、対応していきたいと思います。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	計画相談事業所を通じて、支援内容・方法の情報の共有を行っています。		各機関との連携し、必要に応じて情報も共有させていただきます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	まだ、対象児童がおりませんが、必要があれば行っていきます。		個人情報の取り扱いに留意しながら行っていきます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	連携はとれているが、センターから助言や研修を受ける機会があまり持ていません。		職員に研修情報等を提供し、意欲的に参加できる体制を確保できるよう推進していきます。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	以前は児童館との交流もありましたが、相手側の事情により現在は近隣の公園での交流のみ交流を行っています。	・行っているかどうか把握していない。 ・わからない	現在予定はありませんが、ご要望、ご意見を伺いながら必要に応じて検討していきたいと思います。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	開所時には説明会を開いていましたが、招待するほどの行事を現在は行っていません。	・行っていない。 ・わからない	ご要望、ご意見を伺いながら必要に応じて検討していきたいと思います。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学時にはパンフレットを用いて利用の説明を行っています。また、障害児支援利用計画についても併せて説明し、利用までの流れをお伝えしている。	されていると思う。	今後も継続していきます。
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	現状保護者様にも面談等で詳細をご説明しています。	されていると思う。	今後も契約時に配慮しながら説明していきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者からの相談に対しては、家族支援として個別に対応しているが、保護者への積極的なトレーニングの実施には至っていません。	・わからない。 ・行っていないと思う。	今後は保護者様のニーズを引き出し、職員から保護者様に個々に提案・説明をしていきたいと思いをします。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の連絡帳に子どもの様子について話すようにしています。	・送りの際によく様子を教えてくれる。 ・わからない	今後は連絡帳以外にも、送迎時などに口頭で日々の報告・相談をしていきたいと思いをします。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	いつでも相談を受ける体制をとり相談助言を実施している。	・されていると思う。 ・したことがないのでわからない。	相談等があれば随時対応できるよう、これからも務めてまいります。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施しておりません。	保護者同士の関わりは特にはない。	保護者会や兄弟も参加できるようなイベントの開催も必要と考え、導入を検討しております。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	保護者からの苦情は少ない現状だが、対応は迅速に実施している。	・したことがないのでわからない。 ・適切だと思う。	保護者からの問い合わせや要望には、迅速、丁寧に応えられる様に心がけている。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	現状は連絡帳にてやり取りを行っています。	・配慮している。 ・わからない。	今後は連絡帳だけではなく、送迎時に口頭で児童の様子を報告できるようにしていきたいと思いをします。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	現状、会報の発行予定はございません。	会報等は渡されたことがないが、SNS等の活動記録を見ている。	現状FacebookやHP上でお子様の活動概要等を報告しております。今後もこちらを更新していく予定です。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報のファイルは決められた場所に保管し、個人について知り得た情報は口外しないようにしています。	わからないが、不審に思うことはない。	今後も流出等がないように十分注意をしていきます。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルは策定し職員に周知はできていますが、保護者まで周知できていません。	・知っている。 ・わからない。	職員間での周知は出来ているが、マニュアル自体を保護者の方に周知することは出来ていないので、お知らせしていきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	児童に対して口頭説明で行っております。	実施内容がどのようなものか詳細がわからない。	今後は実際の訓練も交えて行っていき、保護者様にも情報を伝達していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	研修を確保するようにしています。また職員間で話し合いを持つ時間を設けています。		今後も研修を確保できるように努めていきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在対象になる児童はいません。		現状の方針として、身体拘束を行う予定はありません。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アセスメントの際、保護者から聴取し、確認はできています。		今後も保護者との連携を密にし、確認していきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	情報を共有するようにしています。		今後はヒヤリハットを文章で保存し、事業所会議で共有できるように努めていきます。